

## 様式 2

### 平成22年度 第7回安曇野市スポーツ振興計画策定委員会 会議概要

- |   |           |   |
|---|-----------|---|
| 1 | 審議会名      | スポーツ振興計画策定委員会   |
| 2 | 日 時       | 平成22年8月24日 午後7時00分から午後9時10分まで   |
| 3 | 会 場       | 豊科公民館 大会議室  |
| 4 | 出席者       | 古澤会長、加々美副会長、赤羽委員、大谷委員、降旗委員、高橋委員、宮沢委員、<br>二木委員、征矢野委員、松澤委員、会田委員、内川委員、布山委員、<br>山田（賢）委員、山田（文）委員、矢野委員、青柳委員 |
| 5 | 市側出席者     | 赤羽課長・青柳係長・深澤主査・中島主査   |
| 6 | 公開・非公開の別  | 公開  |
| 7 | 傍聴人       | 0人 記者 0人  |
| 8 | 会議概要作成年月日 | 平成22年9月3日   |

### 協 議 事 項 等

- |   |        |  |
|---|--------|--|
| 1 | 会議の概要  | (1) 開会（赤羽課長）<br>(2) 会長あいさつ<br>(3) 協議事項<br>①計画素案について<br>(4) 閉会（赤羽課長）  |
| 2 | 会長あいさつ | 中学校の全国大会があったりして裾花中学のバレーボールが優勝したり、地元では豊科北中学校の400メートルリレーも負けてはしまいましたが、いい経験になったことと思う。富山のほうへ国体の応援に行ってきた。ソフトボールの試合を見たが逆転で勝ち、みんなの思いが集約しているようで感激した。いろいろな人たちの中で我々の作った計画案がうまく具体化できるといいと思う。今日はコンサルタントも来ているのでいろいろなアイデアをいただきながら作っていきたい。   |
| 3 | 協議概要   | (1) 計画素案について<br>(会 長) 基本目標、基本計画の②が4番目に④が2番目というように前回まとめさせていただいたと思っている。間違いないか。<br>(よい)<br>変更しておいて欲しい。計画策定課題が資料編のほうに載っていることについて事務局から説明をお願いしたい。<br>(事務局) 将来像を前面に持ってくるということで趣旨などは後ろに下げるという手法もある。斬新な方法なのでこれではよくないという意見もあろうかと思う。一つの提案である。<br>(会 長) 計画編は基本構想、基本計画、計画実現方策でまとまっている。資料編のほうは計画策定の趣旨、市民のスポーツ・レクリエーション活動の現状、計画策定課題、参考資料になっている。コンサルタントさんのほうで補足はあるか。<br>(業 者) 計画編、資料編という作り方で資料編のほうに計画策定の趣旨、現状、課題を後回しにした作り方は極めて異例である。普通の計画は、何で作らなければいけないのか、こういう現状がある、こういう問題点、取り組みをしなければいけない、目標はこういうことだよというのがオーソドックスな作り方である。計画を作る時にそうでなければならないというものではない。パンフレットにするような構成に近い。安曇野らしさと捉えるのか、オーソドックスに作るのかは両方の意見があると思う。 |

協 議 事 項 等

- (事務局) 計画策定の意義目的、計画の位置づけ、計画の期間が資料でいいのかというところも検討して欲しい。
- (委員) 期間とか具体的なことは興味をもてば自然と関心をもつと思う。パンフレットの作り方は個人的には面白いと思う。
- (会長) 2、3分隣の方とお互いに話し合ってみてください。
- (委員) 1番最初の基本構想は前回話したとおりで2番の計画のあとに計画策定の趣旨、何でこの計画を作ったのかが入れば、それが説明されて実現はどうするのか、資料編に現状はこういうものだ、計画を策定するにはこういう課題があるというのはわりあいとオーソドックスだと思う。
- (委員) 趣旨は真っ先に持ってくるべきだと思う。
- (委員) 行政感覚でいけば事務局の言われたやり方がいいと思う。ただ、つなぎ方、持っていく方によっては斬新なことに結びつくかもしれない。資料編の中の課題も計画編に持ってきた方がいいところもある。趣旨はやはり資料ではない。
- (委員) 明確に分らせるということは最終的には思うが、ただ趣旨については何のためにこれを作ったかということなので先に持ってきたほうがいい。
- (会長) 比較的、趣旨の部分は最初に持ってきたほうがいい、あわせて策定課題のある部分は計画編のほうに持ってきてもいいのではないかという意見であった。事務局どうか。
- (事務局) 趣旨があって現状課題があって、こういうことがあるからこういう施策をもって安曇野市は進めますという計画がいい。まずこういうことで計画を作りますというのを示して欲しい。
- (会長) 趣旨が1の基本構想と2の基本計画の間に入ってくるのか、それともトップバッターに持ってくるのか。2と3の間という意見もあった。
- (委員) 1番のインパクトのある構想を生かして2番の基本計画もしっかりしているので、順番は逆かもしれないが、その後という気がする。
- (業者) 行政の計画とすると趣旨が先にくると思う。
- (委員) これは一般の人に読んでもらうものか。議会用ではない。趣旨が欠落しているなら問題であるが、入っている。過去の似たようなものはだんだん読んでいって飽きてしまうことがあった。一般の人に興味をもって読ませるという意味では個人的にはこれでもいい。
- (委員) 前置きが長いと読まない。趣旨よりも結論を先に出すこの方法でもおかしくはないと思う。
- (委員) 生涯学習推進計画の中に生涯スポーツ活動の推進とか施設の整備充実とかうたわれている。当然それをやるんだということで安曇野市も市として取り組む、それをより具体的に実際にやるということで振興計画の策定がある。2番に基本計画とあるのでその中に趣旨の部分も入ってくるのではないかと思う。ポイントだけ先に持ってくるのも悪いことではないと思う。
- (会長) 資料編のほうページ数が少ない。
- (業者) 資料編はまだ10ページくらい増える。計画編のほうは多少肉付けするがそうそう増えるものではない。趣旨とかの前提条件となるものが頭にないのは気持ち悪いという方もおられるので、計画策定の意義目的などを図解で半ページ程度にして将来像の前に持ってくる作り方もできる。
- (会長) そんな感じどうだろうか。事務局どうか。
- (事務局) 計画を作るのであって資料を作るのではない。
- (委員) 資料という言葉が悪い。
- (会長) 計画編、資料編にした意図は何かあるのか。
- (業者) 現況課題編にしてしまうと趣旨をどうしようかとなってしまふ。よく総論、各論という作り方がある。特色あるものということであったのでこのような形になった。資料編の名前については深く考えてつけたわけではない。裏づけ、詳細データ編とか名前を変えることは問題ない。

協 議 事 項 等

- (会 長) 例えばビジョン編、アクティブ編とかというのものもある。
- (委 員) 趣旨を要約して前にだしてつながっていけばいいと思う。
- (会 長) 文章でですか、図でですか。図のほうが見やすいかもしれない。計画編、資料編という言葉は気になる。
- (事務局) 仮称と考えてもらっていい。今決めなければいけないというものではない。
- (委 員) 総合計画と同じようにしてはどうか。序論、基本構想、基本計画とあって資料というのはごくわずかである。計画編、資料編というのは違和感があった。このほうがすんなりいく。
- (会 長) それではこのような形にするか。事務局どうか。
- (事務局) できればそのような形でお願いしたい。
- (会 長) そういう形で流れを作っていくということにする。計画を作るということをメインにする。計画趣旨はまとめ直したところでまた見ることにする。基本構想の部分のタイトルはどうか。  
(意見なし)
- これはそのまま使いたいと思う。その下の説明にする、みる、ささえる、つくとあってささえるというのが入っているがこの辺りかあるのか。
- (業 者) ささえるはボランティア、運営協力とか、お母さんがお弁当を作って送り出すこともささえるにあたる。する、みる、ささえるの三つはよく言われている。つくるというのは、広がりを持ってまちをつくるとか、人間をつくるとかということまでイメージを膨らました言葉と最近では言われている。この4つの言葉で安曇野市のスポーツ活動というのはできてくると思う。
- (会 長) 前回にはそのことは入っていなかったがどうだろうか。
- (委 員) 協働、連携、融合という言葉がある。ここにともにとという言葉があればいいと思う。
- (委 員) 生涯学習推進計画のほうにもともにとという言葉は使われている。
- (委 員) それぞれに入れるよりはともに豊かなというように最初に入れるのがいいと思う。
- (業 者) 将来像の四角囲みの中を変えるという意見が1つあったということではいいか。ともにとという言葉はひらがなでいいか。文章のほうは市民がともにする、みる、ささえる、つくるというように頭につけて全部にかかるような形でどうか。
- (委 員) 囲みの中に入れば、下の文章のほうはいらないのではないか。
- (委 員) 市民がともにというようにしないと誰がっていうのが分からない。
- (委 員) そこは分かると思う。
- (委 員) いろんな人が読むということを考えると最初にくるのは短い文章でインパクトのある言葉のほうがいい。ともにとという言葉は後の文章に入れたほうがいいと思う。
- (委 員) ちょっと書いてみたがビジュアル的におさまりが悪いのととってつけたように見える。むしろ、文章の3行目でともに豊かな人生とすれば十分ではないかと思う。
- (会 長) ともには括弧の中に入れるのか。
- (委 員) 括弧も外す。
- (会 長) いいでしょうか。  
(いいの意見)
- ひらがなでともにとする。
- (委 員) 事前にもらった文書と今日の文書が違う。今日もらった文書で話し合うのか。
- (事務局) 申し訳ない。いくらかでもこういう形態になるということ分かってもらいたくて中途のものを先に送付した。ご理解いただきたい。
- (委 員) 責めているわけではない。どの資料で協議するのか確認したかった。
- (会 長) この場でいただいた資料をもとに協議する。
- (委 員) スポーツに気軽に参加できる仕組みの仕組みということには場の提供なんかも含まれるのか。
- (業 者) 基本計画のほうに書かれているスポーツ大会、イベント、教室をやるということが仕組みにあたる。
- (委 員) 目標指標のスポーツ参加率の現状58パーセントは正しいのか。
- (業 者) 3月に報告したアンケートの結果による。1年間に何らかのということなので間口は広がっている。週に何回か定期的にということではなく年に1回、運動会には出たということも認めようということにしてある。
- (会 長) 1番目の四角の中はいいか。  
(いいの意見)
- 目標指標だが、私は市民のスポーツ参加率は関係ないと思っている。自分がどうしたいか、仲間とやるにはどういうふうになるのがいいのかが大事。利用団体アンケートをみると指導者が欲しいということが結構でている。スポーツ施設が欲しいとか、総合体育館が欲しいとか意見がかなり出ている。むしろ、そういうことを出したほうがインパクトはあるのではないかと思う。市民が健やかで笑顔いっぱい的人生を送るためには、どういうことをして欲しいんだ、ど

協 議 事 項 等

- (委 員) ういうふうになったほうがいいのかということに参加率でいいのか、指導者を増やしますよ、体育館を造りますよとうたったほうがいいのか。どうか。
- (業 者) 先ほどの指導者の確保とか、総合体育館を造るとかということは上のほうに記述する必要があると思う。取り組みをした結果どういった点に数値が現れるだろうといった時に市民のスポーツ参加率が代表するものかと思う。個別の取り組みの必要性の話は施策のほうでこういったことをやりますと書けばいいが、指標の部分ではそれを代表する生涯スポーツが進んでいると実感する数値は何かということである。総合体育館ができているから生涯スポーツ都市が進んでいるということではないと思う。行政が整備したことであって、市民にどれだけ浸透したかを示すものではない。
- (委 員) 参加率70パーセントとかいうのはイメージできない。指標と言えるのか。満足度というのなら分かる。
- (会 長) 目標指標としてどうするんだということですか、結果としてこうなるんだということですか。私はどうするんだということを出したほうがいいと思う。
- (業 者) 行政のほうはこれだけ施設を造ったとか、事業投入量は出しやすい。お金があればできやすい。行政の目標としては、その結果どういう状況になったかを目指さなければならない。最近は何れだけ結果を得られたか、影響があったかを指標にしようという場合が多い。教室などの情報を提供することで参加率に現れるのではないかということで提案させてもらっている。
- (委 員) マレットゴルフをやる人は頭打ちしているし、ゲートボールは全盛期の5分の1ぐらいになっていると思う。松本や塩尻ではグラウンドゴルフをやっている。安曇野市でやっている人はほとんどいない。グラウンドゴルフを奨励することはあるのか。ペタンクもいいスポーツだと思う。あるならもっとビジュアルしてやれば良いと思う。年齢相応にできる種目を紹介していかなければいけない。
- (会 長) 利用団体用アンケートの結果にあるような満足度の向上というのは難しいのか。
- (業 者) グラウンドゴルフ場を造りますとか、ペタンクを広めますというのは取り組みになって、その結果、参加率が上がるというふう考えられる。
- (委 員) 指導者が欲しい。福祉部局の人がこれは教育委員会のことだから関係ないと言われないように明記して欲しい。市でボッチャの道具を揃えて欲しい。
- (会 長) コーディネーショントレーニングの学校導入を何校から何校にするというほうが、具体性があると思う。参加率っていうのは意味があるのかと思う。
- (事務局) 項目1つ1つに満足度みたいなものを表現していくのであればいいのかもしれないが、大枠をくくった中での目標指標ということであると参加者くらいしかないと。満足度だと個人の感覚も含まれる。
- (委 員) 参加率でもいいと思う。どういった数値なのか解説は必要だと思う。
- (会 長) とりあえず簡単にこのままにしておく。2番目が④になる。④のほうはいいか。  
(いいの意見)  
つづいて③についてどうか。
- (委 員) 地域を代表するというのは大人も指しているのか。たくましい子どもというのとクラブチームという言葉や学校スポーツ指導者というのはちぐはぐだと思う。対象をはっきりさせたほうがいい。
- (業 者) 地域を代表させるというだけだとオリンピック選手を輩出するような荷が重い部分もある。たくましい子どもということで施策に幅をもたせた。安曇野らしい子どもという指標が入っていないのも確かにある。
- (委 員) 下の目標指標が競技性をうたうのなら、曖昧にしないほうがいい。
- (業 者) 指標ありきではない。取り組む内容の成果がどういった形で目に見えるようになるのかということで出場数にした。
- (会 長) 抽象的な表現よりは明確にしたほうがいい。4番目が②のほうになる。65パーセントとかなっているが何か意図はあるのか。
- (業 者) 中途半端に見えるが、1割程度増やしていこうということである。
- (事務局) 機能訓練、介護予防の部分については、健康福祉部とすり合わせをしていないので、この表現がいいのか悪いのか持ち帰って調整をさせていただきたい。
- (会 長) 最後の⑤の項目はどうか。高い指標のような気もする。
- (委 員) 高齢者は60歳以上なのか
- (業 者) 行政は65歳以上でやっているが、アンケートで10歳きざみで集計をとったことによる。解説を付け加える。
- (委 員) ボランティア参加希望率の目標が高くないか。

協 議 事 項 等

- (業 者) 希望率にしてある。ボランティアの場が提供されるかにも左右される。講座等を受けて協力してみたいと思う方の人数が大事かと思う。まずは気持ちを育てたいということである。市民の半分以上がそういう意識を持つようになることを仮設定した。
- (委 員) 極端な数字ではないと思う。スポ少にしたって親、祖父母もそうといえる。何かあって机を片付けるとかだっただけボランティアになる。
- (業 者) まだ、そういった気づきがない。実際にはもうやられているがボランティアだと思っていない。子どもや家族を通じてスポーツ活動にかかわっていることを知ってもらえば高くなると思う。
- (会 長) これはこのままにする。総合型の団体数はまた数を示して欲しい。今日はここまでとする。

—閉会—